

地域で一体的に取り組むイノシシやシカの被害対策①

1 要旨

長門市の境川地区では、里山に残るイノシシやシカによる被害が甚大で営農意欲の減退につながる大きな要因となってきた。

このため、地区住民による既設防護柵の点検活動、わな等設置個所調査、被害状況調査を実施し、新たな防護柵や捕獲わなの整備が必要な箇所を確認した。この調査結果に基づき侵入防止柵等を整備した結果、獣害軽減の効果が見え始めた。

2 地区の概要

| | |
|--------|----------------------|
| 地区名 | 長門市西深川境川地区 |
| 戸数 | 33戸（うち農家14戸） |
| 耕作面積 | 田31ha、畑1ha |
| 主な作物 | 水稻、大豆、キャベツ、カボチャ、一般野菜 |
| 加害獣種 | イノシシ、シカ、サル、ヒヨドリ |
| 対策実施年度 | 令和元年度 |



3 被害の状況と課題

里山に残るイノシシやシカによる農作物への被害のほか、掘り起しによる農道の崩壊等により農作業に支障が出るなど被害が甚大で、捕獲活動を継続しつつ侵入防止柵を設置し集落ぐるみの対応を行う必要があった。

4 取組内容

(1) 鳥獣被害防止対策研修会への参加

平成30年度に県主催の研修会に3名が参加し、知識を習得した。

(2) 集落環境調査の実施

地区内の被害状況を確認するため、既存侵入防止柵の点検、鳥獣被害の分布状況や侵入ルート等の調査を行った。



被害状況の確認



鳥獣被害防止対策研修会への参加

(2) 調査結果の基づく対策の実施

- ①既存侵入防止柵の補修を実施
- ②地元猟友会と連携し、イノシシ、シカの捕獲用箱わなを整備し、地域住民による箱わなの見回りと連絡体制を確立し、効率的な捕獲を実施



境川地区被害状況図

(3) 対策の実施

「鳥獣害に強い集落づくり事業」を活用し、新たなイノシシ・シカ共用の侵入防止柵及び箱わなを追加設置



侵入防止柵の設置

5 取組の成果

イノシシ、シカともに侵入や出没の痕跡もなく効果が現れている。

(千円)

| 被害額 | 令和元年度 | 令和2年度 | | 令和3年度 | | 令和4年度 | |
|------|-------|-------|------|-------|------|-------|------|
| | 実施前 | 実績 | 増減 | 実績 | 増減 | 実績 | 増減 |
| シカ | 300 | 270 | ▲30 | 190 | ▲110 | 70 | ▲230 |
| イノシシ | 300 | 200 | ▲100 | 120 | ▲180 | 40 | ▲260 |

6 地区代表者のコメント

集落環境調査や柵の設置により集落内の鳥獣被害防止意識が高まった。柵設置後からイノシシ、シカの出没が減少した。今後は、集落全体で鳥獣被害対策に取り組んでいく。

7 今後の取組

当地区では、侵入防止柵等の追加設置により、イノシシ、シカ被害の軽減を図ることができた。他の地区においても、集落環境調査により状況を詳細に把握し、効率的な施設整備に繋げて被害軽減の対策を講じていきたい。